



サンタさんに会いに行こう



アルトミュージアム

フィンランドの建築の巨匠「アルヴァール・アアルト」再建の街 ロヴァニエミ・サンタクロース村・ サンタエクスプレスとヘルシンキ7日間

FP0042S

NEW

ツアーハイライト

- ラップランドでの白夜体験(期間限定)
- サンタクロース村に隣接しているサンタクロースホリデービレッジ泊指定(キッチン・サウナ付アパートメント)
- 人気の夜行寝台列車にてヘルシンキへ

スケジュール/宿泊地		食事
		朝 昼 夜
1	11:00 成田 (AY074 便) → (乗継) → ロヴァニエミ【夜】 開空、名古屋、福岡発は P35 参照 ロヴァニエミ着後、送迎車*にてホテルへ。(英語ドライバーのみ) (所要: 約 15 分) ロヴァニエミ泊	↑ ×
2	ロヴァニエミ 終日フリータイムをお過ごしください。 サンタクロース村へは徒歩で行くことができます。 ロヴァニエミ泊	○ × ×
3	ロヴァニエミ 終日フリータイムをお過ごしください。サンタクロース村内よりロヴァニエミ市内まで路線バスで約 10 分。(自費) ロヴァニエミの街歩きやショッピングもお楽しみいただけます。 ロヴァニエミ泊	○ × ×
4	出発まで自由行動。*ホテルチェックアウトは 12 時までにお済ませ下さい。 【夕刻または夜】送迎車*にて駅へ。*送迎車はドライバーのみでガイドは同行しません。 【夕刻または夜】ロヴァニエミ駅【サンタエクスプレス(2等)】に乗車 900km 約 12 時間の寝台列車の旅 車中泊	○ × ×
5	ヘルシンキ着【朝または午前】 着後、各自でホテルへ。ホテルに荷物を預けてから自由行動をお楽しみ下さい。 *ホテルチェックインは 15 時以降です。*朝食は各自でおとりください(自費) ヘルシンキ泊	× × ×
6	ヘルシンキ【夕刻】→(直行便) 出発までフリータイム。 【午後】各自、エアポートバス*にて空港へ。 17:15 ヘルシンキ発 (AY 073 便) → 帰国の途へ 機内泊	○ × ↑
7	8:55 成田着 開空、名古屋、福岡発は P35 参照	↑

*上記スケジュールは現地事情や荒天などの事由により変更となる場合がございます。

旅行代金 (2名1室利用)			
4/1~4/27	219,000円	6/1~6/30	239,000円
4/28~5/3	309,000円	7/1~7/18	279,000円
5/4~5/31	229,000円	7/19~7/31	299,000円
8/1~8/5	319,000円	8/6~8/14	359,000円
8/15~8/29	299,000円		

【早割 60】60 日前までのお申込で上記旅行代金より一律 10,000 円引き (申込条件 P3 参照)

■週末追加代金 (日本発 土日 5,000 円 現地発 金土 5,000 円)

■燃油サーチャージが別途必要となります: 目安額 10,800 円 (2/24 現在) (P35 参照)

■一人部屋利用追加代金 (4泊): 65,000 円

○催行期間: 2017年4月1日~8月29日 ○最少催行人員: 1名様 ○旅行日数: 7日間 ○日本発着地: 成田、開空、名古屋、福岡 ○利用予定航空会社: フィンエアー ○座席クラス: エコノミークラス (中間クラス、ビジネスクラスご希望の方は P34 参照) ○利用予定ホテル: P38 参照 ○食事: 朝食 4 回、昼食 0 回、夕食 0 回 (機内食除く) ○添乗員の有無: 同行しません ○宿泊: 可能 P36 参照 ○空港税: P34 参照 ○地方都市発着: P35 参照 ○代金に含まれるもの: 日程内航空運賃 (エコノミークラス)、送迎車 (ロヴァニエミ空港/ホテル間送迎車、ホテル/ロヴァニエミ駅間送迎車、ロヴァニエミ~ヘルシンキ間サンタエクスプレス代 (2等)、エアポートバス・チケット代 (往復ヘルシンキ市内/空港)、食事代、宿泊代 3泊分 (2人一部屋使用)、(※送迎車とは: タクシーを含み、他のお客様と混載になる場合がございます)、サンタクロースホリデービレッジディナー・クリーニング代
*ご注意とご案内:
■ツアー代金と共に、日本出発時の空港施設料、現地出国税、空港税等を代行受領させていただきます。
■サンタクロース・エクスプレスはトリプル (3名1室) は不可。シングル追加代金 15,000 円
■ロヴァニエミの太陽が沈まない期間は 6月7日~7月5日頃まで。

フィンランドの建築の巨匠「アルヴァール・アアルト」の宝庫 アアルト建築の宝庫ユヴァスキュラと ヘルシンキ6日間

FP0049S

ツアーハイライト

- フィンランドの巨匠アルヴァール・アアルトの建築を巡る旅
- アアルト建築の宝庫ユヴァスキュラに滞在
- ヘルシンキでは日本語建築士がご案内

スケジュール/宿泊地		食事
		朝 昼 夜
1	11:00 成田発 (AY074 便) 空路 (直行便) → フィンエアーにてヘルシンキへ。 開空、名古屋、福岡発は P35 参照 15:20 ヘルシンキ着。エアポートバス*にて市内へ。各自ホテルへ。 ヘルシンキ泊	↑ ×
2	ヘルシンキ【朝】 アアルト建築を学ぶ (所要時間 6 時間) 現地在住日本語建築士と共に専用車*でアアルト建築探訪へご案内いたします。 ◎オタエミのチャペル(注1)、◎ヘルシンキアアルト大学(注2)、●アアルトスタジオ、●アアルトハウス、○フィンランドシアターホールなど ヘルシンキ泊	○ × ×
3	ヘルシンキ【午前】 ユバスキュラ【午前または午後】 列車*にてユバスキュラへ。徒歩にてホテルへ。到着後フリータイム。 ユバスキュラ泊	○ × ×
4	ユバスキュラ【夕刻】 ヘルシンキ【夕刻または夜】 各自でユバスキュラ市内のご散策をお楽しみください。アアルトが建築した、アアルト博物館 (注3)、市立劇場、労働者会館、ユバスキュラ大学等を各自ご見学ください。(ガイドは同行しません) 徒歩にて中央駅へ。列車*にてヘルシンキへ。 ヘルシンキ泊	○ × ×
5	ヘルシンキ【夕刻】 → (直行便) 出発までフリータイム。 【午後】 各自、エアポートバス*にて空港へ。 17:15 ヘルシンキ発 (AY 073 便) → 帰国の途へ 機内泊	○ × ↑
6	8:55 成田着 開空、名古屋、福岡発は P35 参照	↑

*上記スケジュールは現地事情や荒天などの事由により変更となる場合がございます。

旅行代金 (2名1室利用)			
4/1~4/27	279,000円	7/1~7/18	329,000円
4/28~5/3	369,000円	7/19~7/31	359,000円
5/4~5/31	289,000円	8/1~8/5	369,000円
6/1~6/30	299,000円	8/6~8/14	399,000円
8/15~9/3	369,000円	9/4~9/19	329,000円
9/20~9/30	309,000円		

【早割 60】60 日前までのお申込で上記旅行代金より一律 10,000 円引き (申込条件 P3 参照)

■週末追加代金 (日本発 土日 5,000 円 現地発 金土 5,000 円)

■燃油サーチャージが別途必要となります: 目安額 7,000 円 (2/24 現在) (P35 参照)

■一人部屋利用追加代金 (4泊): 145,000 円

○催行期間: 2017年4月1日~10月31日 ○最少催行人員: 1名様 ○旅行日数: 6日間 ○日本発着地: 成田、開空、名古屋、福岡 ○利用予定航空会社: フィンエアー ○座席クラス: エコノミークラス/ビジネスクラスご希望の方は P34 参照 ○利用予定ホテル: P38 参照 ○食事: 朝食 4 回、昼食 0 回、夕食 0 回 (機内食は除く) ○添乗員の有無: 同行しません ○宿泊: 可能 P36 参照 ○空港税: P34 参照 ○地方都市発着: P35 参照 ○代金に含まれるもの: 日程表内航空運賃 (エコノミークラス、変更不可)、宿泊代金 4泊分 (2人1部屋使用/朝食つき)、日程表*印の表示区間の乗車代金 (列車: 2等指定) *ご注意とご案内:
注1: オタエミチャペルは工事中の為、中の見学ができません。ご留意ください。
注2: 大学休校の場合、工事中等で中に入場できない場合があります。
注3: アアルト博物館は月曜日休館です。
■日程表内の記号は次の通りです。●=入場観光 ○=車窓観光
■下記イベント開催期間前後は大変混雑します。この期間に滞在を希望の方はあらかじめお申込ください。WRCネステラフィ Finland (7月27日~7月30日)
■ツアー代金と共に、日本出発時の空港施設料、現地出国税、空港税等を代行受領させていただきます。

Rovaniemi

ロヴァニエミ (フィンランド)

サンタクロースの故郷とデザイン都市

サンタ村でサンタに会いに行こう! 建築家のアアルトがデザインした都市。きこりのろうそく橋がランドマーク。美しく整備され、個性的なデザイン建築と最新ショップの入るショッピングセンターは必見。

サンタクロースホリデー ビレッジ泊指定



シャワー、トイレ、サウナ、ミニキッチン付

ゆっくり夜行寝台列車の旅 サンタクロース・エクスプレス



車窓の景色を楽しみながら、ロヴァニエミから首都ヘルシンキに行く12時間夜行寝台列車の旅を満喫。食堂車も充実!

食堂車もあるよ!

アルヴァール・アアルト (1898~1976)

フィンランドが誇る巨匠建築家。シンプルで清潔感のある建築が特徴。建築以外にも戦争で破壊された町の都市計画や家具、食器なども手がけています。半世紀以上も前の彼の作品は今でも世界中の人々に愛されています。

ヘルシンキの
フィンランドシアターホール

